



クジラ発掘 初冬の陣。緊急報告!!! 思わぬ展開、大きな成果!

2008年10月、南区小金湯から大型のヒゲクジラと見られる化石の入った岩のかたまり（ブロック）が発見され、昨年までに2回の発掘を行いました。3年目となる今年の発掘では2008年に採取した腰椎の続きのブロックと、胸椎・肋骨・肩甲骨のブロックの採取を目標に実施しました。腰椎の続きのブロックは今年の自然探求サポート事業に参加している安達 颯君、佐藤陸斗君、佐藤 遥さんの3人の小学生を中心に、札幌自然史研究会の方々のご協力を得て発掘しました（写真：3ページ上）。観察の結果、腰椎に続く尾椎が含まれているようです。

胸椎・肋骨・肩甲骨のブロックはさすがに大きく、コンクリートなどの解体が得意な業者の技術をお借りして3つに割り（写真1）、ひとかたまりずつ採取しました（写真2）。また、それに連なって少しだけ見えていたブロックの大きさを確認したところ、さらに前方におよそ2mのびていることがわかり、その断面に化石骨を確認することができました。肩の骨（肩甲骨）が産出しているブロックから前に2mということは、頭部が含まれている可能性もあります！発掘期間中、重たい雪と風に見舞われましたが、学芸員の有頂天に現場の空気も一気に楽しい気分になり、今年の発掘を終了しました。このブロックの発掘は来年行うことになりました。

小金湯のクジラ化石はサッポロカイギュウに次いで、世界を驚かせる大発見になることが大いに期待され、来年の発掘もますます楽しみです。今年採取した化石は札幌市博物館活動センターに保管され、札幌自然史研究会を中心とした皆さんの協力で、クリーニング作業が始まっています。（古沢）※発見からこれまでの成果：ミューズレターNo.36 1ページ目、No.37～40「どうなる?! クジラ化石 報告ファイル1～4」をご覧ください。当センターホームページにも掲載。

<http://www.city.sapporo.jp/museum/museletter/>



写真1：ブロックを3分割。



写真2：割ったブロックを、機械でつり上げて採取。

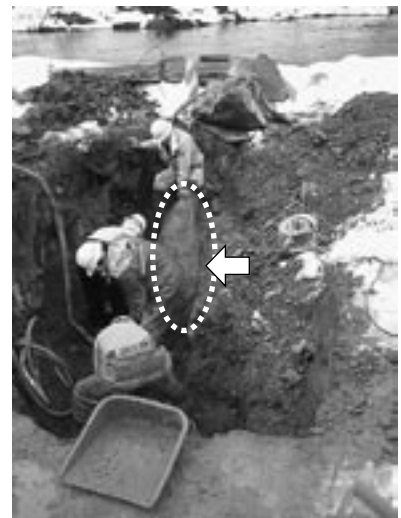


写真3：新たに現れたブロック（矢印）。白く見えているのは雪。

❄️ 冬が来た! ❄️

☑ 庭から

みぞれ雪の威力! リンケージ庭の木も . . .

10月26日朝、幹の直径およそ20cmのネグンドカエデの木がボッキリと折れていました(写真)。前夜からの湿った雪の重みで折れたのでしょう。

幹の直径が10cm未満のシラカバは木のてっぺんが地面につくほど曲がってはいましたが、折れてはいませんでした。



☑ 展示室から

ウサギのあしあと どっちが前足? (答え: 4ページをみてね。)

リクエストにお応えし、動物の足あととスタンプが新しくなりました。展示解説員古田さんの手作りです!

動物の足あとが易く見つけやすくなる雪の季節、足あとウォッチングしてみましよう!



エゾユキウサギのフン

2011年の干支は、ウサギ。
札幌の野山にはエゾユキウサギが生息しています。登山道の近くでは、フン(写真)に出会うチャンスの方が多いです。